

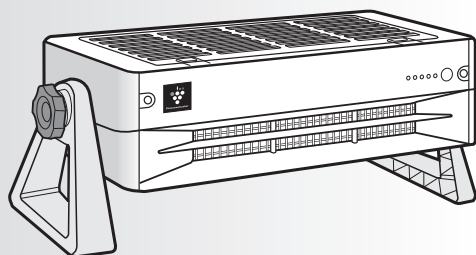
高速・高精度・省メンテナンス
除電ブローア

取扱説明書



形番

SC1P-WFD2



プラズマクラスターロゴおよび
プラズマクラスター、Plasmaclusterは、
シャープ株式会社の登録商標です。

もくじ

ページ

はじめに

特長

2

仕様

3

安全上のご注意

4

安全上のご注意(設置編)

6

使いかた

各部のなまえ

8

設置と接続

9

運転のしかた

14

お手入れ

16

ユニット交換

18

困ったとき

アラーム・警告

19

こんなときは

裏表紙

技術問い合わせ窓口

お買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく
お使いください。

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読み
ください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる
所に保存してください。

特 長



プラズマクラスター技術の応用で 高速除電と周辺環境の浄化

- 広範囲な除電エリア
ワイドな吹出口とクロスフローファンにより、
幅方向300mmの除電エリアを均一に除電。
- すぐれたメンテナンス性
イオン発生ユニットは経年変化が少なく、
メンテナンス期間が長く取れます。
また、メンテナンスも容易です。
- 風量4段階切替
設置シーンに応じて、ワイドレンジで風量を切り替えられます。
また、風量はLED表示により、容易に確認できます。
- ユニット交換ランプと外部出力
イオン発生ユニットの交換時期をLED表示でお知らせします。
また、異常発生時のアラーム出力、メンテナンス必要時の
警告出力を、外部に出力できます。
- 柔軟な設置性
卓上設置に便利なスタンド付き。吹出角度を目盛により調整
できます。
また、本体を直接固定するためのネジ穴を備えています。

「プラズマクラスター」技術とは？

自然界にあるのと同じプラスとマイナスのイオンをプラズマ放電により作り出し放出。
浮遊するウイルスの作用を抑え、浮遊カビ菌などを除去するシャープ独自の技術です。
自然界に存在するイオンと同じ種類であり、作用メカニズムも解明^{*1}されています。
もちろん安全性も確認済み^{*2}です。

- 約5～10畳相当の試験空間におけるプラズマクラスターイオン発生機を用いた実証結果です。
イオン濃度が同等であれば同様の効果が得られると考えられます。
- プラズマクラスターの効果は、使用場所の状況(温度・湿度、広さ、形状、エアコン・換気などの
使用の有無、商品の設置場所など)や商品特性、使いかた(イオンの吹き出し方向・運転モード・
運転時間など)によって異なります。

*1 ドイツアーヘン応用科学大学 アートマン教授

*2 (株)LSIメディエンス

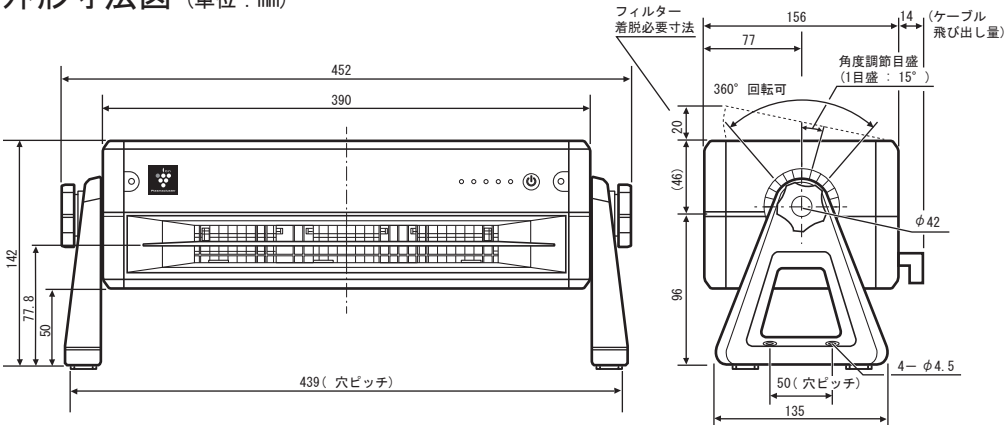
仕様

入力電圧		DC24V ±10%			
イオンバランス※1		±5V			
除電時間※2		0.8秒			
オゾン濃度		0.005ppm以下			
運転モード		弱	中	強	フルパワー
風量		0.7m ³ /分	1.5m ³ /分	2.2m ³ /分	2.9m ³ /分
風速※3		1.4m/秒	2.2m/秒	3.0m/秒	3.8m/秒
消費電流 (DC24V電源使用時)		0.10A	0.19A	0.37A	0.72A
消費電力 (別売ACアダプター使用時)		3.1W	5.4W	10.4W	19.2W
制御入力		DC24V ±10%			
制御出力	アラーム出力	最大100mA (DC24V ±10%)			
	警告出力				
耐環境性	使用周囲温度	0~50℃			
	使用周囲湿度	10~85% (結露なきこと)			
外形寸法		(幅)452 mm (手ネジ含む) (奥行)156 mm (高さ)142 mm (脚含む)			
製品質量		約1.9kg			

特長／仕様

- ※1 製品正面300mmの距離、フルパワーモード時
※2 製品正面300mmの距離、フルパワーモード時
除電時間：±1000Vから±100Vまでの時間、帯電プレートモニタ：150×150mm、20pF
※3 製品正面300mmの距離

外形寸法図 (単位：mm)



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。
本製品は、防爆構造ではありません。溶剤・可燃性ガス等が存在する「危険場所」ではご使用になれません。



警告 火災や漏電、感電、大けがを防ぐ



- ご自身で取り付け工事はしない
(取り付け不備があると感電・火災・落下の 原因)
取り付けは、工事店、弊社の技術問い合わせ窓口へお問い合わせください。
- 吹出口や吸込口にピンや針金などの異物を入れない
(感電・けが・異常動作の原因)
- お手入れに塩素系・酸性系の洗剤を使用しない
(洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害する原因)
- 改造はしない。修理技術者以外の方は、分解や修理をしない
(火災・感電・けがの原因)
修理は工事店、弊社の技術問い合わせ窓口へお問い合わせください。
- 濡れた手で操作しない (感電の原因)
- 機器を水洗いしない (火災・感電・故障の原因)
- 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近付けない (火災の原因)
- 次の場所では使用しない (感電・故障の原因)
 - ・ 結露するような場所、高湿度雰囲気中の場所。
 - ・ 食用油など油成分が浮遊している場所。
 - ・ 理・美容院・クリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所。
- DC電源とACアダプターは同時に使用しない (火災・感電・故障の原因)



- 煙、臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切る (感電・火災の原因)
- お手入れの際は必ず運転を停止し、DC端子もしくはACアダプターの差込プラグを抜き、ファンが停止した状態でおこなう (感電・けがの原因)
- 雷が鳴り出したら運転を停止して、電源を切る (火災・感電・けがの原因)
- 別売品は必ず当社指定の製品を使用する (火災・感電・故障の原因)
- ACアダプターを使用されている場合、ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む (感電・発煙・発火の原因)

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと。

 しなければならないこと。



注 意 漏電やけがを防ぎ、財産を守る



- 本製品は決められた使用条件(周囲温度0～50℃、周囲湿度10～85%(結露なきこと))で使用する (火災・故障・破損の原因)
- 機器の下にストーブ、コンロなどの発熱物を置かない (火災・落下・機器の変形・故障の原因)
- 機器を指定外の洗剤や薬品などで拭いたり、殺虫剤をかけたりしない (機器の破損・落下・感電などの原因)
- 機器の一部が破損したまま使わない (火災・感電・故障・落下・けがの原因)
- 落としたり、強い衝撃を与えない (故障・けがの原因)
- フィルターをはずして使わない (製品内部に異物が入り、火災・感電・故障の原因)
- 吸込口や吹出口をものでふさがない (故障・破損の原因)
- 機器は強帯電物がある場所には設置しない (故障・除電性能低下の原因)



- 機器のアース接続端子は必ずD種接地する (故障・イオンバランス低下の原因)
- 機器は帯電物から100mm以上離して設置する (故障・除電性能低下の原因)
- 機器を清掃する際は、乾いた柔らかい布か、水で浸した柔らかい布をよく絞って拭く (感電・故障の原因)
- フィルターはこまめに清掃する (能力低下の原因)
- 電源には定格で定められた電源を使用する (火災・感電・故障の原因)
- 高電圧、動力線と本製品の配線は別配線としてください (誤動作・故障の原因)
- 電源は高電圧が発生しないように対策されている直流電源を使用する (誤動作・故障の原因)
- 電源ラインにサージがある場合、使用環境に応じてサージアブソーバを接続して使用する (誤動作・故障の原因)

安全上のご注意（設置編） 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。
本製品は、防爆構造ではありません。溶剤・可燃性ガス等が存在する「危険場所」ではご使用になれません。



警告 火災や漏電、感電、大けがを防ぐ



- 工事、修理のとき以外は分解しない
(機器落下・感電・火災の原因)
- 機器に他の荷重をかけない
(落下・感電・焼損の原因)
- 機器を改造したり、部品を変更して使うことは絶対やめる
(感電・けがの原因)
- この機器は防湿型ではありませんので、湯気、湿気の多い場所、機器が結露する場所には使えません
(湿気の進入による絶縁不良・感電の原因)
- ACアダプターや配線(電源線)や本体を濡れた手で触れない
(感電・故障の原因)



- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
(火災・感電の原因)
- ACアダプターを使用される場合、ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む
(感電・発煙・発火の原因)
- ACアダプターを使用される場合、ACアダプターのホコリなどは定期的に取り除く
(火災の原因)

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと。

 しなければならないこと。



注 意 漏電やけがを防ぎ、財産を守る



- 次のような場所には設置しない（感電・発煙・発火・故障・落下・ケガの原因）
 - ・不安定な場所
 - ・屋外および直射日光が当たる場所
 - ・振動のある場所
 - ・揮発性可燃物、溶剤や腐食性ガスのある場所
 - ・ホコリ、塩分、鉄分、油煙が多い場所
 - ・強磁界、強電界の発生する場所
 - ・急激な温度変化のある場所
 - ・水、油、化学薬品の飛沫がある場所
 - ・強帯電物のある場所

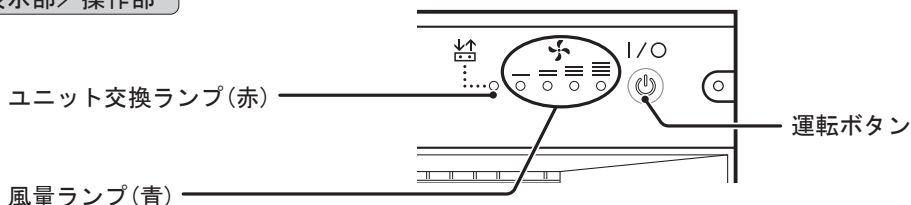


- 機器の取り付けは、本説明書に従って取り付ける（取り付けに不備があると機器落下・感電・火災・ケガの原因）
- 機器の取り付けは、製品質量（約1.9kg）に十分に耐える所に確実におこなう（取り付けに不備があると機器落下の原因）
- ACアダプター、DC電源は、本説明書の「設置と接続」に従って、接続する（取り付けに不備があると機器落下、感電、火災の原因）
- ボルトやネジは確実に締め付ける（変形・破損・落下の原因）
- 試運転で異常や異音が発生したときは、直ちに運転を中止する（火災・感電・故障の原因）
- 機器は帯電物から100mm以上離して設置する（故障・除電性能低下の原因）

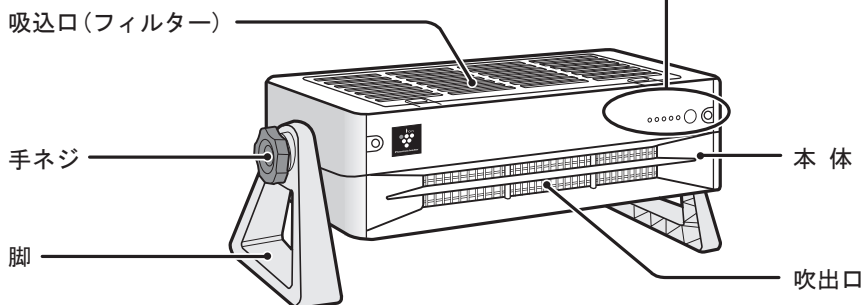
各部のなまえ

本体／表示部

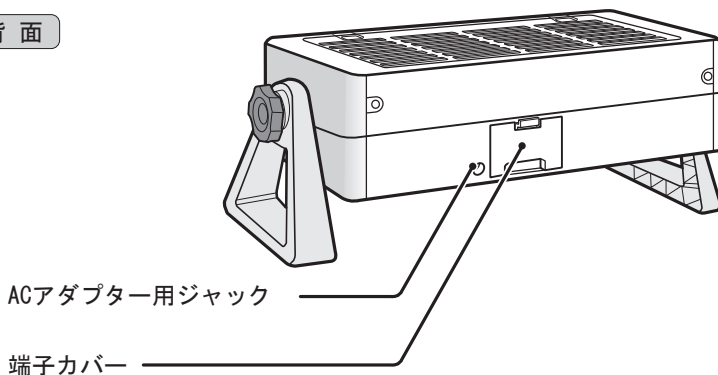
表示部／操作部



前面／天面



背面



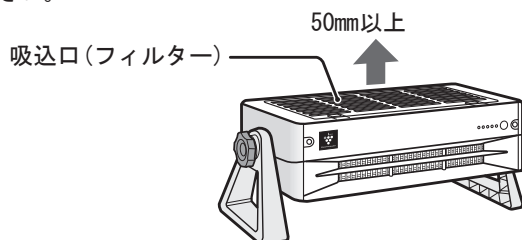
付属品

- 取扱説明書 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
- 脚ゴム：4個 ● アース線
- エラー表示ラベル(製品異常、またはアラーム時のランプパターンを示しています。製品もしくは製品付近に貼って使用してください)

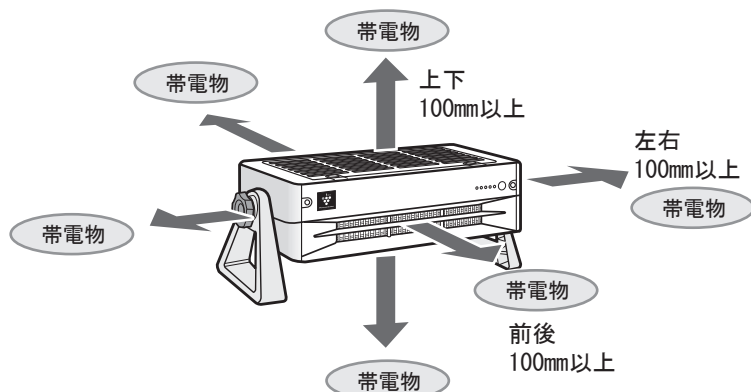
設置と接続

取り付け前の確認

- 除電性能を確保するため、本体の吸込口と他の機器や壁面とは50mm以上の空間をあけてください。



- 本体の周囲に帯電物があると、本体が正常に動作しないことがあります。本体の設置や移動の際は帯電物から100mm以上離してください。

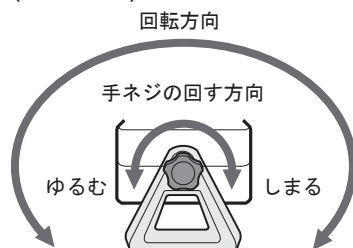


- 強帯電物がある場所(強帯電している台上や壁面)には設置しないでください。

設置のしかた

- 本体角度の調整 本体は角度を変えられます。(0~360 °)

左右の手ネジをゆるめて本体の角度を調整し、手ネジをしめてください。

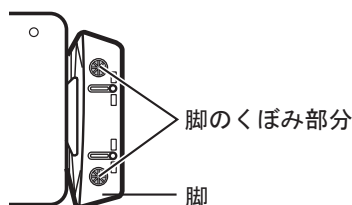


設置と接続 (つづき)

設置のしかた (つづき)

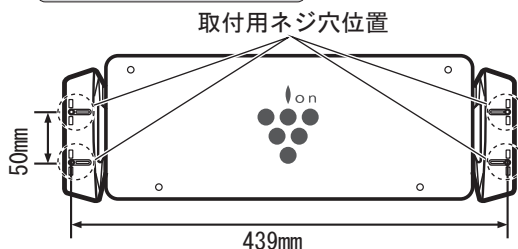
- 本体をおいて使用する場合
脚の底面(くぼみ部分)に付属の脚ゴムを貼りつけて使用してください。
(左右2カ所ずつ、計4カ所)

本体を底から見た図



- 本体アシを固定して使用する場合
本体を設置する場所にM4のタップを切り、脚を取付用M4ネジで固定してください。
(左右2カ所ずつ、計4カ所、締め付けトルクは0.78N・m以下でご使用ください)

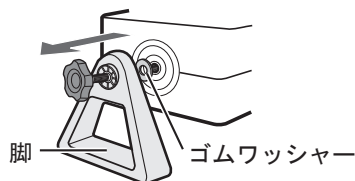
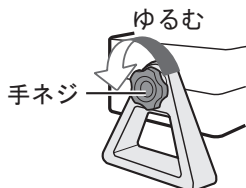
本体を底から見た図



- 脚をはずして、本体をネジで固定して使用する場合

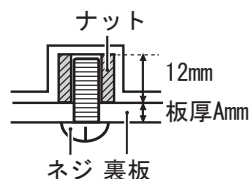
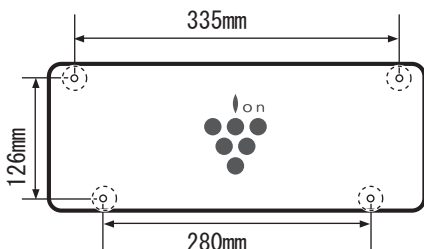
左右の手ネジを回して取りはずし、脚とゴムワッシャーをはずす。
(取り付けは、逆の手順でおこなってください)

1



本体を設置する場所にφ4～φ5の穴をあけ、M4ネジで固定して使用してください。(計4カ所)

本体を底から見た図



※ナットの長さは、12mmですので裏板の厚みに応じて本体が確実に固定できるネジをご準備ください。(上図参照)

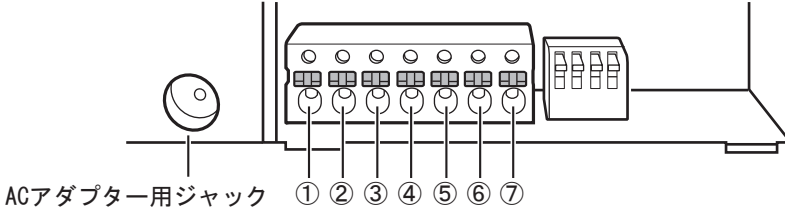
固定ネジの長さの目安：板厚A+10～11mm

2

接続のしかた

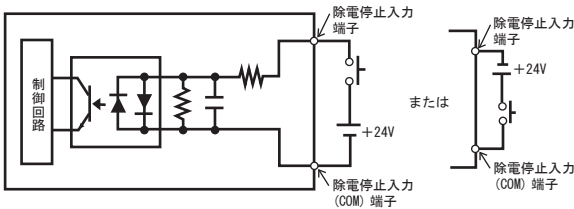
入出力端子台の配列

端子カバーをはずすと入力端子台があります。

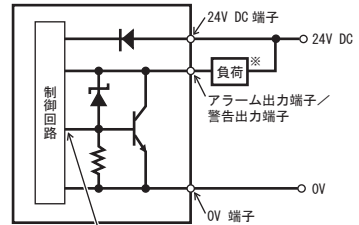


- ① アース接続端子：必ずD種接地をしてください。
- ② 24V DC端子：DC24V±10%
- ③ 0V端子：電源用0V、および各種警報出力⑥⑦用0V
- ④ 除電停止入力：④と⑤の間にDC24Vを接続することで、除電の ON/OFFができます。
- ⑤ 除電停止入力 (COM)：除電停止用のCOM端子
- ⑥ アラーム出力：異常時をお知らせします。
- ⑦ 警告出力：メンテナンスを促します。

入力回路図(除電停止入力)

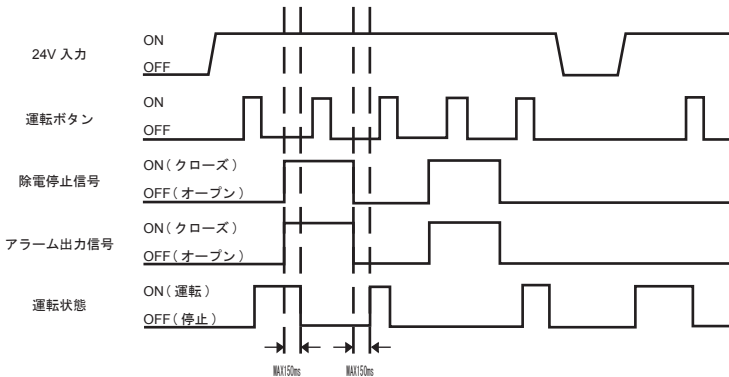


出力回路図 (アラーム出力、警告出力)



※ 最大出力電流：100mA

タイミングチャート



設置と接続 (つづき)

DC端子で接続する場合

《本体側の接続》

※工事の前に、必ず電源を遮断してください。

※電線は、以下のサイズのものを使用してください。

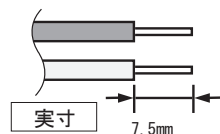
単線 : AWG26~AWG16 ($\phi 0.4 \sim 1.3\text{mm}$)

より線 : AWG24~AWG14 ($0.2 \sim 2.0\text{mm}^2$)

※電源は電源容量に余裕のある定格24VのDC電源を使用してください。

1

電線の両端を所定の長さ(7~8mm)にストリップする。
右図の寸法記入部分は実寸です。スケールとしてご利用ください。



2

本体裏側の端子カバーをはずす。

3

電線のプラス側を端子台のDC24V側②に、電線のGND側を端子台の③に接続し、付属のアース線をアース線接続端子①に接続する。

本体の端子台レバーをマイナスドライバー

などの工具を使用し、奥に押しながら、

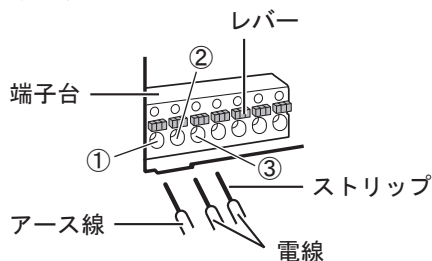
図のように端子台の挿入面に垂直に奥まで確実に差し込む。

(一度引っ張り、接続の確認をしてください)

付属のアース線、および使用される電線

(より線)は、細線がばらつかないように

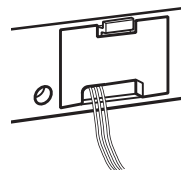
はぎ代部分をよじるなどの処理をおこなってから接続させてください。



4

端子カバーを取り付ける。

(ケーブルは、端子カバー下側の切欠きから、本体の外側に引き出してください)



ACアダプターで接続する場合

ACアダプターは別売です

《本体側の接続》

※工事の前に、必ず電源を遮断してください。

※ACアダプターは必ず専用のシャープ製ACアダプター(IZ-JAC1)を使用してください。

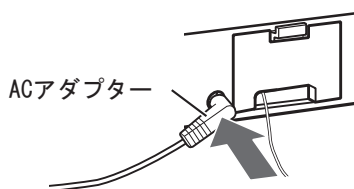
1

DC端子で接続する場合と同様に (12ページ) 付属のアース線をアース接続端子に接続する。

※ 付属のアース線は細線がばらつかないようにはぎ代部分をよじるなどの処理をおこなってから接続させてください。

2

本体裏面のACアダプター用ジャックにACアダプターのプラグを差し込む。



設置と接続

ご注意

- どちらの接続方法においても、必ずD種接地をしてください。
- テレビやラジオにノイズが入ったり、電波時計が正しく時刻表示しないときは、テレビ・ラジオ・電波時計などからできるだけ離してください。
- DC電源とACアダプターは同時に使用しないでください。

運転のしかた

ご使用前に

- ・ 製品を使用する際は必ずD種接地をしてください。
- ・ 吸込口、吹出口をふさがない。
- ・ 0～50℃の環境で使用する。
- ・ 湿度10～85%の環境で使用する。
- ・ 吸込口は、他の機器や壁面から50mm以上の空間をあける。
- ・ 本体の周囲は、帯電物から100mm以上離して設置する。
- ・ 本体は強帯電物がある場所には設置しない。

運転入／切

本体の運転ボタンで、運転入／切をおこなう。

風量の切り替えは、ディップスイッチで設定をおこなう。(15ページ)

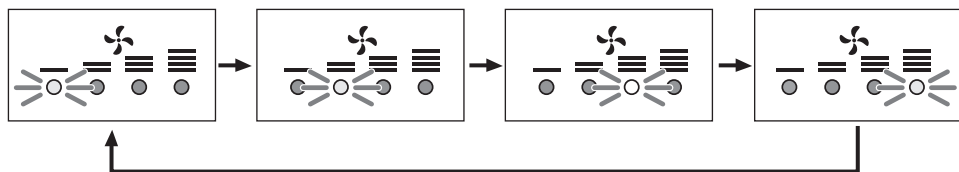


コンディションチェック

運転開始直後、自動的にイオン濃度とイオンバランスを安定させ、センサー部の校正をおこないます。(約40秒間)

コンディションチェックをおこなっている間は、風量ランプが以下のように変化します。

コンディションチェック中の風量はディップスイッチ設定に従います。(15ページ)



ブレーカー連動機能

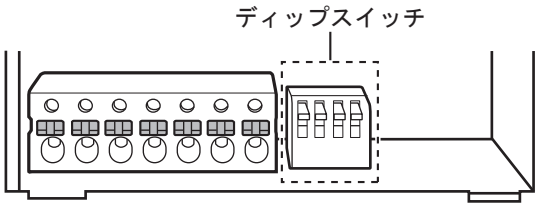
運転中にブレーカーが落ちたり、停電したときでも通電を再開すれば、直前の運転モードで運転を再開させることができます。

風量の切り替え

1

本体の端子カバーをはずす。

ディップスイッチを切り替えて風量の切り替えをおこなう。
風量は4段階切り替えが可能です。(弱、中、強、フルパワー)
工場出荷時の風量はフルパワーです。



2

● 各モードとディップスイッチの設定および表示

運転モード	弱	中	強	フルパワー
	1 2 上 上	1 2 下 上	1 2 上 下	1 2 下 下
ディップ スイッチ の設定				
風量ランプ				

3

端子カバーを取り付ける。

※ディップスイッチ3番は出荷前の製品テスト時に使用するものですので、通常は常に上にしてご使用ください。
※ディップスイッチ4番については18ページをご参照ください。
※濡れた手でディップスイッチを操作すると水により短絡を起こす恐れがあります。

本ページはメンテナンスをされる方向けの内容です。

お手入れ

お手入れの頻度は目安です。ご使用環境によっては早めにお手入れが必要になる場合があります。
お手入れの際は必ず運転を停止し、DC端子もしくはACアダプターの差込プラグを抜き、ファンが停止した状態でおこなってください。

本 体

1 カ月に 1 回程度

表面を柔らかい布で拭く。

汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた布で拭く。

フィルター

1 カ月に 1 回程度

本体の吸込口に付いたホコリを掃除機で吸い取る。

汚れがひどいときは、フィルターを取りはずして、水洗いしてください。

(取れにくいときは柔らかいスポンジをご使用ください)

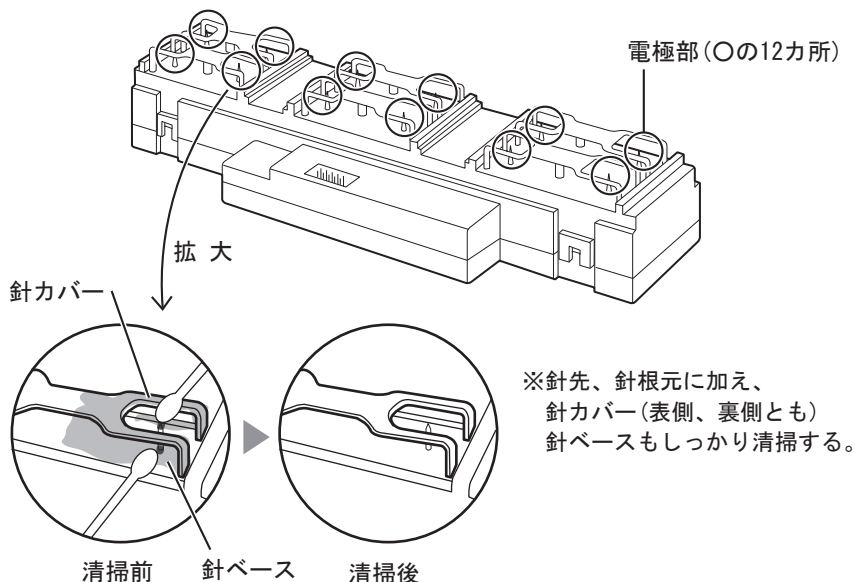
ユニット／電極部

6カ月に 1 回程度

電極お手入れ警告 (19ページ) が発生したら目立った汚れがなくても必ず清掃してください。
(小さな汚れがプラズマクラスターイオン減少の原因となります)

ユニットのはずしかた (17ページ)

アルコール(エタノール)で湿らした市販の綿棒で電極部(12カ所)や電極部の周囲の汚れやほこりを取り除く。





注意



お手入れ時・ユニット交換時は、
必ず電源を切る

【感電やけがの原因】

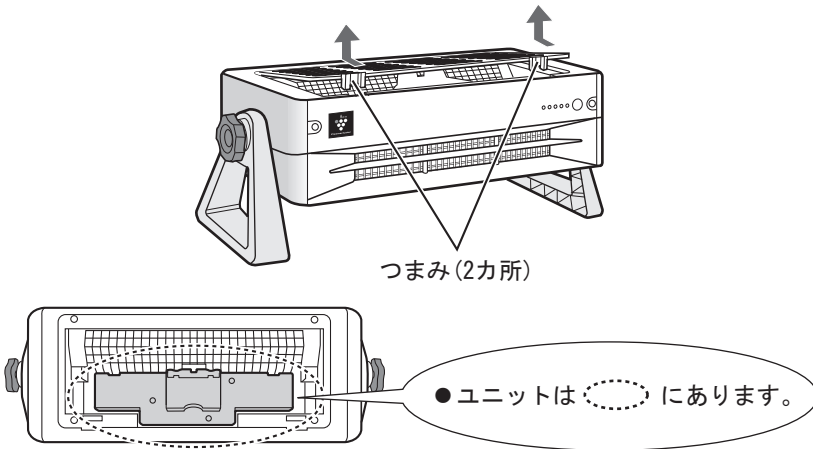
ユニットのはずしかた

1

本体の電源を切る。

2

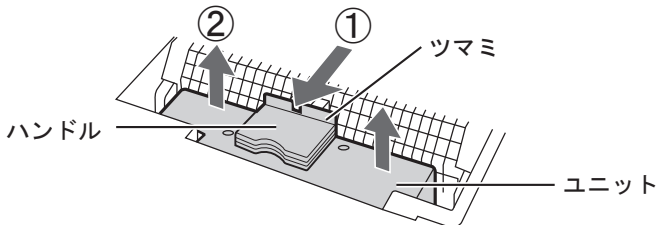
フィルターのつまみ(2カ所)をはずし、フィルターを本体から取りはずす。



お手入れ

3

①ユニットのつまみとハンドルを持ち、②持ち上げて取りはずす。



ご注意

- 電極部に手で触れない。(けがのおそれ)
- 電極を変形させない。

ユニット交換

ユニット交換ランプ

総運転時間が約17,500時間(1日24時間運転した場合約2年)経過すると、ユニット交換ランプが点滅してユニット交換時期をお知らせします。ユニットの交換については、お買いあげの販売店にご相談ください。
※「弱」「中」「強」「フルパワー」どの運転モードでも、ユニット交換時期は同じです。

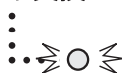
使い始め

総運転時間
約17,500時間

●交換してください

ユニット交換ランプ
点滅(赤)

ユニット交換

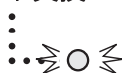


総運転時間
約19,000時間

●運転が停止

ユニット交換ランプ
速い点滅(赤)

ユニット交換



※ユニットを交換するとユニット交換ランプは消灯します。

ユニット交換警告後の運転継続設定

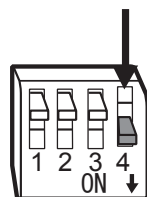
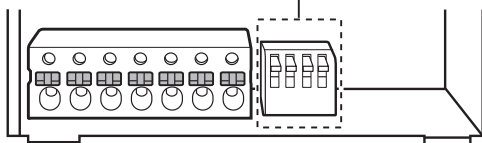
ディップスイッチの切り替えで、総運転時間が約19,000時間経過後にも運転を継続させることができます。(交換ランプは点滅し続けます)

※19,000時間経過後の除電能力は保証されません。

●設定方法

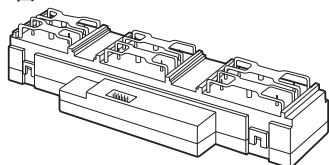
本体裏側の端子カバーをはずし、ディップスイッチの4番を下にし、端子カバーを閉じる。
(工場出荷時は、上に設定されています)

ディップスイッチ

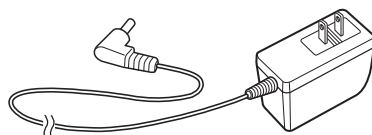


別売品

品 名 : 交換用イオン発生ユニット
形 番 : SC9Z-WF1U



品 名 : ACアダプター
形 番 : IZ-JAC1(シャープ製)



アラーム・警告

アラーム・警告の表示

●アラーム時・警告時の表示パターン

状 態	種 類	ユニット 交換ランプ	風量ランプ			
			—	==	===	====
異 常 (アラーム)	ファンモーター異常	○	●	○	○	○
	ユニット取付異常	○	●	●	○	○
	除電停止	○	●	○	○	●
警 告 (メンテナンス)	電極お手入れ警告	○	◎	◎	◎	◎
	ユニット交換警告17,500時間	◎	運転時の風量設定による (15ページ)			
	ユニット交換警告19,000時間	●	○	○	○	○
その他	その他の異常・警告	上記以外のランプパターン				

記号の意味 ○：消灯 ◎：遅い点滅 ●：速い点滅

ユニット交換

アラーム・警告出力の信号

●遠隔状態確認用の出力端子で、アラーム時・警告時に信号を出力します。

状 態	種 類	アラーム出力	警告出力	検知後の状態
異 常 (アラーム)	ファンモーター異常	ON	OFF	運転停止
	ユニット取付異常	ON	OFF	運転停止
	除電停止	ON	OFF	運転停止
警 告 (メンテナンス)	電極お手入れ警告	OFF	ON	運転継続
	ユニット交換警告17,500時間	OFF	ON	運転継続
	ユニット交換警告 19,000時間※	ディップスイッチ 4番：上	ON	運転停止
		ディップスイッチ 4番：下	OFF	運転継続
その他	その他の異常・警告	ON	OFF	運転停止

※ユニット交換警告19,000時間の動作は、ディップスイッチ4番の設定で変えられます。 (18ページ)

アラーム・警告／こんなときは

こんなときは

こんなとき	お調べください	
運転しない	● DC電源もしくはACアダプターがはずれていませんか。 ・ 正しく接続してください。 ● 運転が停止していませんか。 ・ 運転ボタンを押してください。	12 14
音がする		
・ 「ジー ジー」と音がする	● プラズマクラスターイオンが発生するときの音で異常ではありません。	—
・ 「バサバサ」と音がする	● フィルターにほこりがついていませんか。 ・ フィルターのお手入れ、または交換をしてください。	18
除電効果が低下したように感じる	● ユニット電極部の清掃をしてください。 ● プレフィルターの清掃をしてください。 ● 除塵フィルターの交換をしてください。	16 16 16
アラーム・警告の表示が発生		
・ ファンモーター異常	● 電源を切り、1分程度してから再び電源を入れもう一度運転操作をおこなってください。	—
・ ユニット取付異常	● ユニットが正しく挿入されていますか？ ・ ユニットを取り出して再度挿入し、もう一度運転操作をおこなってください。	17
・ 電極お手入れ警告	● ユニット電極部の清掃をしてください。	16
・ ユニット交換警告	● イオン発生ユニットの交換時期です。新しいイオン発生ユニットに交換してください。 ● ユニットの交換については、弊社の技術問い合わせ窓口へお問い合わせください。 ● ユニットの交換時期を超えるとユニット交換ランプ(赤)が早い点滅にかわり運転が停止します。 ※ユニット交換警告19,000時間の動作は、ディップスイッチ4番の設定で変えられます。(18ページ)	18 — 18
・ その他の表示	● 本体の故障です。 電源をお切りいただき、弊社の技術問い合わせ窓口へお問い合わせください。	—

IDEC株式会社

<http://www.idec.com>

本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64 TEL 06-6398-2500

取扱説明書でご不明な点が御座いましたら、下記の技術問い合わせ窓口へお問い合わせください。

お問い合わせ時間：9：00～12：00／13：00～17：00（土・日曜日、祝日および弊社休日を除く）

【技術問い合わせ窓口】

TEL：0120-992-336

携帯電話・PHSの場合：050-8882-5843（通話料がかかります）

この取扱説明書は、再生紙、および植物油インキを使用しています。



TINSJA257KKRZ 18ES

①